



明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

鳥羽小学校学校運営協議会コミュニティ・スクール研修会



1月29日(水)に“まずコミュニティ・スクールについて知ることが大切だ”ということで鳥羽小学校学校運営協議会が研修会の時間をとっていただきました。明石市が目指す「SDGs未来安心都市・明石の創造」の視点、また未来の創り手となる子どもたちに必要な資質・能力を育む視点から“今なぜコミュニティ・スクールなのか”を説明させていただきました。運営協議会委員のみなさんは、コミュニティを支える意識の変化に危機感をもたれており、プレゼン終了後、“子育てやまちづくりをすすめる当事者意識をどのように高めていくのか”といった根幹にかかわるご質問をいただきました。こうした危機感を持たれている方は多いと思いますが、正直なところ明確な答えはありません。しかし、そうした課題があるからこそコミュニティ・スクールを進める必要性があり、学校・保護者・地域の三者で本気の熟議を始める必要があると考えます。“みんなの学校”として映画にもなった大阪の大空小学校の元校長先生である木村泰子先生はインタビュー等の中で次のように述べられています。

「大空ではサポーター（大空小学校では保護者の方も地域の方もサポーターとして呼ばれているそうです）からの“文句”を受け付けません。そのかわり、どんなに耳の痛い内容でも“意見”には耳をかたむけます。意見には「こうしたい」という主体性があり、未来につながります。文句には、それがありません。文句をどう、自分のなかで意見にかえるのか。ここに地域や社会を変える力があると思います。」また、「保護者が自分の子どもを育てたかったら、自分の子どもの周りにはいる子どもを育てることが先決です。困っている子を探して、ちょっとでも困りごとをなくせるように関わっていく。そういう大人が子どもたちの身近にいることが結果的に自分の子育てにもつながっていく。」

「大空ではサポーター（大空小学校では保護者の方も地域の方もサポーターとして呼ばれているそうです）からの“文句”を受け付けません。そのかわり、どんなに耳の痛い内容でも“意見”には耳をかたむけます。意見には「こうしたい」という主体性があり、未来につながります。文句には、それがありません。文句をどう、自分のなかで意見にかえるのか。ここに地域や社会を変える力があると思います。」また、「保護者が自分の子どもを育てたかったら、自分の子どもの周りにはいる子どもを育てることが先決です。困っている子を探して、ちょっとでも困りごとをなくせるように関わっていく。そういう大人が子どもたちの身近にいることが結果的に自分の子育てにもつながっていく。」

木村先生が言われる「文句をどう、自分のなかで意見にかえるのか。」「自分の子どもの周りにはいる子どもを育てる」、それが熟議の場であり、熟議には変化をもたらす力があると考えています。またそこにコミュニティ・スクールを進める意義があるのだと考えます。同じゴールに向かって共に汗を流せるつながりをつくっていききたいですね。

ZOOM (Web 会議無料アプリ) を体験しました！ Web 会議は使えます！ぜひ体験を！



2月4日(火) 16:00からZOOM (Web 会議無料アプリ) を使って、コミュニティ・スクールの研修会を実施しました。初心者の私は、プレゼンの横に参加者の顔も映っているのですが、画面に向かって、棒読みするのが精一杯でした。慣れなくてはいけません。また、その夜自宅でジチラボでの分科会に向け ZOOM を使っての打ち合わせを体験

させていただきました。もう Web 会議が簡単にできる時代に突入していることを痛感させられました。近い将来、出張がほとんどなくなるのではと思ったくらいです。活用としては会議・打ち合わせ・研修だけでなく、学校に来にくい子ども向けの授業でも活用できると感じました。まだまだ環境が整っておらず、通信環境は私用のスマホ・パソコンでの体験となっていますが、こうした Web 会議システムを体験する中で活用法を自分の頭で考え、準備を始めておかないといけないなと感じました。

次回は2月18日(火) 16:00~16:30で「なぜ、今コミュニティ・スクールなの」を実施します。参加ご希望の方は学校教育課 北本まで (a_kitamoto@city.akashi.lg.jp) 連絡してください。ミーティング ID・パスワードを返送させていただきます。まず体験を！ (文責：北本)